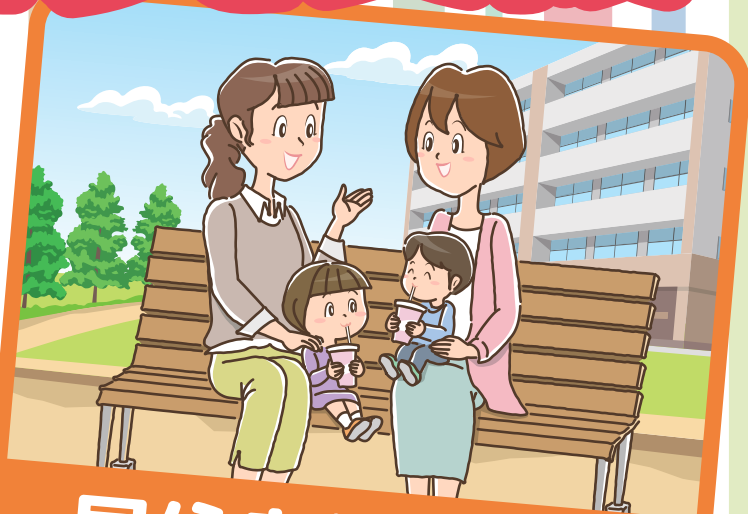


子育てに配慮した賃貸マンションの 新築・改修を支援



安全・安心確保に 向けた取組

転落防止の手すり等の設置など
全19項目の事故防止対策



居住者等による 交流を促す取組

キッズルームや家庭菜園など
子育て期の親同士の交流を活発に

①安全・安心確保

最大

100
万円/戸

②交流を促す施設

最大

500
万円/棟

子育て支援型共同住宅推進事業

詳細はホームページまたは裏面のお問合せ先へ

安全確保19項目と交流を促す施設の設置が補助対象

子どもの転倒防止



- ・床の段差解消
- ・昇降を補助する手すり等

ドアや扉の指詰め防止



- ・指詰め防止カバー
- ・ドアクローザー等

不審者の侵入防止



- ・窓への防犯建物部品採用
- ・シャッター、面格子等

子どもの進入や 閉じ込み防止



- ・外側から解錠可能な錠
- ・チャイルドフェンス等

災害への備え



- ・家具の転倒防止措置のための下地処理等

子どもの様子の見守り



- ・対面形式キッチン
- ・子どもを見守れる間取りへの工事等

交流を促す施設



- ・多目的室（集会室/キッズルーム）
- ・プレイロット（遊具/水遊び場/砂場）
- ・家庭菜園
- ・ベンチ

交流を促す施設



※交流を促す施設はいずれか1項目以上必須

対 象

小学生以下の子どもを養育する世帯が居住する
賃貸住宅の新築・改修、分譲マンションの改修

申請期間

令和7年4月1日(火)～令和8年2月27日(金)

※予算執行状況により申請期間を前倒しして終了する場合があります。

詳細はメールにてお問い合わせください

事務局HP <https://kosodate-sc.jp/>

事務局 子育て支援型共同住宅サポートセンター

お問合せ先 info@kosodate-sc.jp

電話番号 03-6659-8875 10:00～12:00,13:00～17:00
土日祝、年末年始除く

事務局HP

3分でわかる
案内動画



安全確保19項目と交流を促す施設の設置補助対象項目

■子どもの安全確保に資する設備の設置の取組事項

住宅内での事故防止	①造りつけ家具の出隅等の衝突事故防止工事(面取り加工)
	②ドアストッパー又はドアクローザーの設置
	③転倒による事故防止工事(洗面・脱衣室の床はクッション材)
	④人感センサー付玄関照明設置
	⑤足元灯等の設置
	⑥転落防止の手すり等の設置
	⑦ドアや扉へ指詰め防止工事
	⑧子どもの進入や閉じ込み防止のための鍵の設置
	⑨チャイルドフェンス等の設置
	⑩シャッター付コンセント等の設置
	⑪火傷防止用カバー付水栓、サーモスタット式水栓等の設置
	⑫チャイルドロックや立消え防止等の安全装置が付いた調理器の設置
子どもの様子の見守り	⑬対面形式のキッチンの設置
	⑭子どもを見守れる間取りへの工事(キッチンに面したリビング)
不審者の侵入防止	⑮防犯性の高い玄関ドア等の設置
	⑯防犯フィルム、防犯ガラス、面格子等の設置
	⑰防犯カメラ設置(録画機能のあるカメラ付きインターホン設置を含む)
災害への備え	⑱家具の転倒防止措置のための下地処理工事
	⑲避難動線確保工事

※このほか防犯安心性の確保として宅配ボックスの設置が可能です(新築を除く)。

■居住者等による交流を促す施設の設置の取組み事項

交流場所として利用できる多目的室[キッズルーム・集会室]の設置

プレイロット[遊具・水遊び場・砂場]の設置

家庭菜園の設置

交流用ベンチの設置

賃貸住宅オーナー様へ事例をご紹介します！

<賃貸建設型事例紹介> 物件A

【2023.10竣工物件】 所在エリア:東京都墨田区

敷地面積	1,164㎡
延べ床面積	5,424㎡
階数	11階
総戸数	73戸
補助対象戸数	73戸
補助金額	78,000千円



【検討経緯】

- 子育て支援に特化した賃貸共同住宅建設を検討していたところ、管理会社より新規補助事業開始の案内あり活用決定。

【オーナー様&入居者様の声】

- 「子育て世帯専用マンション」とすることで入居者全体の“子育てに対する理解度”が高い。
- 「キッズルーム」活用による“顔がわかる関係”がベースとなり、育児に関わる事柄を教え合う体制へ。
- 同じような環境の方々と話すことで子育ての孤独感や不安が解消でき入居者満足度が非常に高い。
- 居室内に安全対策が施されており、子どもから一瞬目を離さざるを得ない時間も安心。

【整備内容】

①衝突事故防止	②ドアクローザー	③転倒事故防止	④人感センサー付照明
			
カウンターテーブルの角を丸い形状に加工	急激な開閉防止のためドアクローザー設置	立ち座りや姿勢保持サポートとしてトイレに手すり設置	両手がふさがった状態でも明るさ確保できる玄関照明
⑤足元灯	⑥転落防止	⑥転落防止	⑦指詰め防止
			
暗がりによる転倒防止のため補助照明として足元灯設置	バルコニーの手すりを1,100mm以上とし足がかりのない形状に	子どもの手が届かない位置に補助錠設置	全ての引き戸に軽量且つゆっくり閉まるクローザー

⑦指詰め防止	⑦指詰め防止	⑧進入・閉じ込み防止	⑨チャイルドフェンス
			
開き戸の開閉軸側の隙間に 指はさみ防止カバー設置	引き残しを大きくとる 指はさみ防止ストッパー設置	脱衣室側からも解錠可能な 鍵を高い位置に設置	調理中キッチンへの 立入制限ができる チャイルドフェンス下地処理
⑩感電事故防止	⑪火傷防止	⑫安全装置付き料理器	⑬対面形式キッチン
			
プラグ差し込み口 シャッター付コンセント設置	埋め込み式カラン サーモスタット式混合栓採用	チャイルドロック等 安全機能付き調理器を設置	調理しながら子どもの様子を 観察しやすい対面型キッチン
⑭子ども見守り	⑮玄関ドア	⑯窓のサッシ・ガラス	⑰防犯カメラ等
			
リビングはキッチンから 見渡すことができる間取り	不審者の侵入防止対策 防犯建物部品を採用	不審者の侵入防止対策 防犯ガラス採用	住戸玄関にカメラ付き インターホン設置
⑱家具転倒防止	⑲避難動線確保	キッズルーム	家庭菜園
			
リビングや寝室に 家具等固定可能な下地処理	握力のない子どもでも 使いやすいレバーハンドル	親同士の交流も活発に 子育て時の孤独感解消	食育にもつながる 季節の野菜づくり

賃貸住宅オーナー様へ事例をご紹介します！

<賃貸建設型事例紹介> 物件B

【2024.03竣工物件】 所在エリア:埼玉県さいたま市

敷地面積	804㎡
延べ床面積	780㎡
階数	3階
総戸数	15戸
補助対象戸数	15戸
補助金額	20,000千円



【検討経緯】

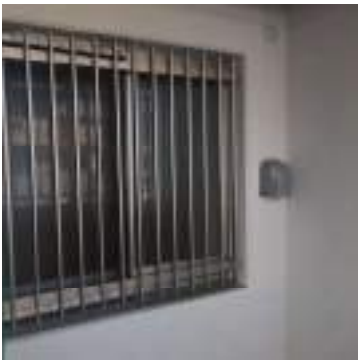
- ・ 最寄り駅からの道路が開通することにより、通勤圏拡大となることから賃貸住宅建設を検討。
- ・ 近隣の物件が増える中、安全・安心な住戸は「競合との差異化が図れる。」と管理会社から提案あり。

【オーナー様の声】

- ・ 自分の子どもが幼児の頃、階段転落の経験があったため設計上の工夫が必要と考えていた。
- ・ そのほかにも住宅内で様々なケガのリスクを目の当たりにしてきた中で、住宅の安全度を高く意識。
- ・ 小学校も近く、子育て世帯が地域に定住しやすい安全性の高い住戸が完成して良かった。

【整備内容】

①衝突事故防止	②ドアクローザー	③転倒事故防止	④人感センサー付照明
角を丸い形状に加工し 衝突時のケガリスク軽減	急激な開閉による衝突防止 のためドアクローザー設置	専有部分の床面は 段差のない構造	両手がふさがった状態でも 明るさを確保できる玄関照明
⑤足元灯	⑥転落防止	⑥転落防止	⑥転落防止
暗がりによる転倒防止のため 補助照明として足元灯設置	バルコニーの手すり高さを 1,100mm以上確保	室外機を足掛かりにして 手すりに上りにくい距離を確保	子どもの手が届かない 高い位置に補助錠設置

⑦指詰め防止	⑦指詰め防止	⑦指詰め防止	⑧進入・閉じ込み防止
			
全ての引き戸に軽量且つゆっくり閉まるクローザー	引き残しを大きくとる 指はさみ防止ストッパー設置	開き戸の吊元側に 指はさみ防止カバー設置	洗面・脱衣室に外側からも 施錠・解錠可能な鍵を設置
⑨チャイルドフェンス	⑩感電事故防止	⑪火傷防止	⑫調理器安全装置
			
調理中キッチンへの 子どもの進入阻止	プラグ差し込み口 シャッター付コンセント	給湯用カランには 火傷防止用カバーを設置	立ち消え防止等安全装置が ついた調理器を設置
⑬対面形式キッチン	⑭子ども見守り	⑮玄関ドア	⑯面格子等の設置
			
調理しながら子どもの様子を 観察可能な対面型キッチン	キッチンから見渡し可能な リビングの配置	デッドボルト(門)が外部から 見えない構造の玄関ドア	接地階窓に不審者の 侵入防止用面格子設置
⑰防犯カメラ等	⑱家具転倒防止	⑲避難動線確保	ベンチ
			
エントランス・駐輪場・駐車場 防犯カメラ設置	リビングや寝室の壁に 家具固定用の下地処理	子どもが良く使う部屋は 窓に飛散防止フィルム貼付け	アプローチに居住者同士の 交流促進のためのベンチ設置

賃貸住宅オーナー様へ事例をご紹介します！

<賃貸改修型事例紹介> 物件C

【2023.12竣工物件】 所在エリア:福岡県福岡市

築年月	1986.02
階数	2階
総戸数	10戸
補助対象戸数	1戸
延べ対象面積	42㎡
補助金額	1,000千円



【検討経緯】

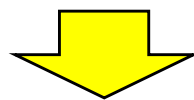
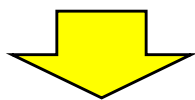
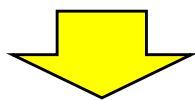
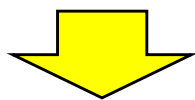
- ・ 建物や設備の経年劣化により安全性や快適性が低下していた為、管理会社やリフォーム業者から補助金を活用して改修してはどうかとの提案あり。
- ・ 居室内の事故防止(転倒、やけど等)および防犯性の高い住戸としたいオーナー様の思いと合致。

【特徴的な取組】

- ・ キッチン、浴室といったリフォーム人気の高い項目において安全性アップ。特に浴室はバランス釜からの改修となり、浴槽サイズアップや保温性アップといった部分でも好評。
- ・ 室内レイアウト変更とともに床段差解消。

【整備内容】

⑦指詰め防止	⑧進入・閉じ込み防止	⑪火傷防止	⑬対面形式キッチン
			



			
慌てて指をはさまないよう ドアの開閉をゆっくりにする ドアクローザー設置	高い位置への錠設置により 浴室を使用していない時に 子どもひとりでの進入防止	浴室給湯設備一新 給湯用カランに触れないよう 火傷防止用カバー設置	調理中も見守れるよう 正面にリビングを見渡せる 対面型オープンキッチン化

賃貸住宅オーナー様へ事例をご紹介！

<賃貸改修型事例紹介> 物件D

【2024.08竣工物件】 所在エリア:福岡県福岡市

築年月	1995.01
階数	2階
総戸数	8戸
補助対象戸数	1戸
延べ対象面積	66㎡
補助金額	945千円



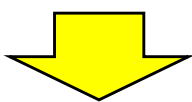
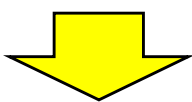
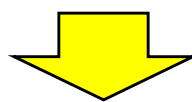
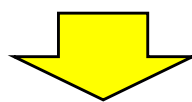
【検討経緯】

- ・ 事故防止のための基準づくりは重要と考えていた中、子育て世帯への訴求力を高めるべくリフォーム業者から補助金活用での改修提案あり。

【特徴的な取組】

- ・ 建築当時の安全性レベルを大きく超える転落防止や衝突防止に対する措置を講じた。
- ・ リフォームの目玉として浴室やキッチンの安全性アップ。
- ・ 訪問者の顔を事前に確認できる録画機能付きインターホンは内見時に好評。

【整備内容】

②ドアストッパー	③転倒事故防止	⑥転落防止	⑰インターホン
 改修前	 改修前	 改修前	 改修前
			
 改修後	 改修後	 改修後	 改修後
全ての開き戸に ドアクローザーを設置 急激な開閉による衝突防止	水や石けんに濡れても 滑りにくく、乾きやすい 床材に改修	腰壁頂部から床面との距離を 現在の基準に合わせた 高さに手すり設置	不審者の侵入防止のため 住戸玄関に録画機能付き インターホンを設置

防犯安心性の確保のための宅配ボックスの設置について

■「宅配ボックスの設置事業のみを対象とする場合」の要件

建築基準法上の「共同住宅」または「長屋」であること。

補助対象共同住宅における、子育て世帯※の入居率が3割以上であること。
※交付申請日において子ども(同年4月1日時点18歳未満)を養育している世帯

補助対象共同住宅内の住戸部分の床面積※の平均が40㎡以上であること。
※床面積にはバルコニーやパイプスペース・メーターボックスの面積は含みません。

対象住戸を含む建築物は新耐震基準に適合していること。

宅配ボックスの設置場所を共用部分(例えばエントランス等)とすること。
1棟につき1箇所のみ補助対象とすることができる。

設置する宅配ボックスは『子育てエコホーム支援事業』登録商品であることが、同事業ホームページにて確認できること。

補助対象共同住宅の全ての住戸において、子どもの転落による事故防止対策が講じられていること。

■補助金計算方法

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{上限額} \\ \hline \text{50万円} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{補助対象} \\ \text{工事費} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{子育て世帯入居率} \\ \text{30\%～100\%} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{補助率} \\ \text{1/3} \\ \hline \end{array}$$

■補助金計算方法

子育て世帯 入居率	補助対象工事費 200万円の場合	補助対象工事費 100万円の場合	補助対象工事費 50万円の場合
入居率100%	500,000円※	333,000円	166,000円
入居率50%	333,000円	166,000円	83,000円
入居率30%	200,000円	100,000円	50,000円
入居率30%未満	補助対象となりません		

※計算上は666,000円ですが、上限額の50万円となります。

賃貸住宅オーナー様へ事例をご紹介します！

東京都港区 総戸数:16戸
補助金額:256千円



東京都練馬区 総戸数:22戸
補助金額:62千円



神奈川県川崎市 総戸数:15戸
補助金額:213千円



神奈川県横浜市 総戸数:14戸
補助金額:93千円



